

## 参加申し込み要領

### ■参加費

会 員：5,000円	1日だけの参加
会 員 外：5,500円	会 員：3,500円
退 職 者：4,000円	会 員 外：4,000円
学生・海外：3,500円	退 職 者：2,000円
	学生・海外：2,000円

### ■宿泊費等

【2泊(夕食、朝食)】  
 会員・会員外・退職者・海外：27,000円  
 (8/9夕食～8/11朝食)  
 学生：25,000円(8/9夕食～8/11朝食)



【1泊2食(夕食、朝食)】  
 8/9泊 12,000円 ● 8/10泊 15,000円

【夕食のみ】  
 8/9分：6,000円 ● 8/10分(交流会)：9,000円

【昼食】  
 会場にて別途申し受けます。同一会場での昼食(弁当)となります。

### ■申し込み方法

#### Step 1 技術教育研究会のWebサイトから「仮申し込み」を行う

http://www.gikyouden.comに掲載されている申し込みフォームより仮申し込みを行ってください。「仮申し込み」がない場合参加内容を把握することが困難です。必ず「仮申し込み」を行ってください。  
 ※技教研筑波山大会 facebook 非公開グループにぜひご参加ください。facebook 上で  技教研筑波山大会  「技教研筑波山大会」と検索の上、「グループに参加」をクリックするだけです。仮申し込みの情報を確認の上こちらから参加を承認します。登録は任意ですが、大会前から大会中、大会後と大会に参加された皆様の間で情報を共有する予定です。スマートフォンがなくてもPCから参加可能です。ぜひ参加をお願いします。

#### Step 2 参加費、宿泊費の振り込み

「仮申し込み」後、下記銀行口座に参加費と宿泊費等の合計金額をお振り込みください。申し込みの確定は、参加費等が振り込まれた時点となります。(本年度は銀行振込のため、専用の振込用紙はありません。)

【振込先：みずほ銀行 十二号支店  
 普通 1186508 株式会社JTB関東】

#### Step 3 申し込みの確認

メールもしくはfacebookにて、申し込みの完了をご連絡いたします。数日たっても連絡がない場合は完了していない可能性があります。下記の問い合わせ・連絡先に連絡をお願いします。

#### 参加申し込みメ切りは、7月24日(金) 厳守

振り込み後、キャンセルされた場合は、旅行会社(JTB)の規定によりキャンセル料が発生します。

### ■問い合わせ・連絡先

技術教育研究会第48回全国大会事務局  
 川 俣 純  
 〒305-0044 茨城県つくば市並木2-9-118  
 TEL：029-859-2783  
 E-mail: jkawamata@gmail.com

\*なるべくメールまたは、facebook非公開グループ「技教研筑波山大会」にてお問い合わせください。

### ■発表資料等について

- 発表資料やレポートは、**A4またはA3サイズ**で内容別分科会は100部、問題別分科会は20部をご用意ください。
- 会場に資料を送る場合は「筑波山ホテル青木屋気付 技術教育研究会(〇〇〇〇：お名前)」とご記入の上、前々日(8/7)に現地に必着となるように宅配便等でお送り下さい。
- 出張依頼状が必要な方は返信用封筒(送付先等を記入し、82円切手を添付してください)を同封した手紙を大会事務局までお送りください。決められた様式がある場合はお申し出ください。

### ■会場施設

「筑波山ホテル 青木屋」  
 〒300-4352 茨城県つくば市筑波753-1  
 TEL 029-866-0311 / FAX 029-866-1291  
 URL http://www.aokiya-hotel.com

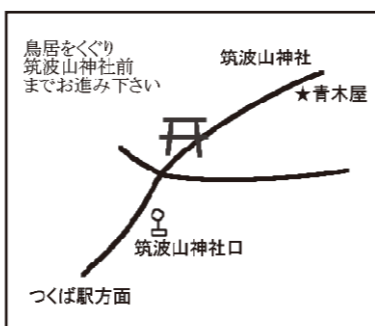
### ●交通アクセス

#### (1) 交通機関利用の場合.

- 東京駅からつくばエクスプレスを利用の場合約2時間  
 東京-(山の手線5分)→秋葉原→(つくばエクスプレス45分)→つくばセンター(つくば駅)1番のりば→(関鉄バス約40分)→筑波山神社口→(徒歩3分)→青木屋
- 東京駅から高速バスを利用の場合 約2時間  
 東京→(八重洲南口バスターミナルから「筑波大学行」約60分)→つくばセンター(つくば駅)1番のりば→(関鉄バス約40分)→筑波山神社口→(徒歩3分)→青木屋  
 ※つくばセンター1番のりばから筑波山神社までの最終バスは15:30発です。15:30以後は3番のりばから、つくバス(北部シャトル)で筑波山口までバスで移動し、そこからタクシー等で約10分の移動となります。

#### (2) お車で越しの場合

- 常磐高速「桜土浦IC」から約40分
- 常磐道「土浦北IC」から約30分
- 北関東自動車道「桜川 筑西IC」から約35分



## 技術教育研究会 第48回全国大会 筑波山大会案内

# 国民のための技術・職業教育の創造を!

—すべての子ども・青年を持続的発展可能な社会の主人公に—

日時：2015年8月9日(日)～11日(火)

場所：筑波山ホテル 青木屋

〒300-4352 茨城県つくば市筑波753-1

電話 029-866-0311

FAX 029-866-1291

URL http://www.aokiya-hotel.com

主催：技術教育研究会 後援：茨城県教育委員会、つくば市教育委員会

### 記念講演

## 戦後70年と技術・労働の教育 講師 須藤敏昭

(手労研代表委員、大東文化大学名誉教授)

	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
大会日程	9日(日)							受付	開会集会	記念講演		実技理論講座	夕食	総会		
	10日(月)	朝食	合同分科会	内容別分科会	昼食	内容別分科会				夕食交流会						
	11日(火)	朝食	問題別分科会	閉会集会	昼食	地域の見学会										

### 筑波山大会参加へのお誘い

大会実行委員長 川俣 純

関東平野に突き出た筑波山は標高わずか877m、その独特の山形から万葉の昔から富士山と並び証され、うっすらとかすんで紫に見えるその姿は紫峰(しほう)と呼ばれます。醤油が別名「紫(むらさき)」と呼ばれるのは、筑波山を臨むこの地域一帯がかつて江戸時代に大豆の一大生産地であったことに由来しています。

1970年に筑波研究学園都市建設法が施行され、JAXAや高エネルギー加速器研究機構、産業技術総合研究所など日本を代表する43の研究機関が移転し、40年ほどの年月をかけて筑波は科学技術の街「つくば」に生まれ変わりました。

前回1987年の筑波山大会(第20回全国大会)から28年。小学校から大学まで、現場教師から学生、研究者までが手弁当で集まり、幅広く技術教育に関わる今日的課題を語り合う技教研全国大会が、再びここ筑波山で開催されようとしています。

つくばエクスプレスの開通で東京駅からわずか2時間ほどで大会会場にたどり着くことができるようになりました。ぜひ筑波山で、技術教育の未来を語り合ひましょう。皆様のご参加をお待ちしています。

## 技術教育研究会

代表委員：直江 貞夫 (工学院大学教職課程非常勤講師)

事務局 長：尾高 進 (工学院大学)

事務局：〒134-0087 東京都江戸川区清新町1-1-19-404 尾高 進 方

TEL 03-3686-4929 Email: info@gikyouden.com

Webサイト：http://www.gikyouden.com

## 第1日目 9日(日) 開会集会・記念講演 (14:00～16:30)

基調報告：技術教育研究会常任委員会

記念講演：戦後70年と技術・労働の教育 ■ 須藤 敏昭 (手労研代表委員 大東文化大学名誉教授)

## 実技・理論講座 (17:00～19:00)

小・中・高・高専・専門学校・特別支援学校・職業訓練校などにおける実践に役立つ実技・理論講座を用意いたしました。下記6つの中から1講座をお選びいただけます。定員がある場合は申込先着順となります。

<b>1. スターリングエンジンの製作</b> 定員20名 材料費:1500円 ◎小林義行 (茨城県立中央高等学校)	スターリングエンジンは現象への理解度や作り手の工作レベルに応じて、色々な設計製作が可能なエンジンです。単純な構造のものを参加者の皆さんに製作してもらい、教材としての意義や教材化の方法などについて、一緒に考えましょう。
<b>2. 出前授業「発電の仕組みと原発事故」</b> 定員・材料費なし ◎川上泉 (人間の歴史の授業を創る会, DIY工房 IZUMI)	3.11以前から行ってきた出前授業の内容を報告します。火力発電・風力発電・水力発電・火力発電・原子力発電・放射線の体験型教具とパネル写真を紹介します。討論で原発の問題を深めます。
<b>3. ラズベリーパイを使ったスクラッチ講座</b> 材料費100円 定員10名 ◎笹倉千紗子 (桜美林中学校・高等学校)	教育用に開発された小型コンピュータ「Raspberry Pi」と、簡易プログラミング言語「Scratch」を用いて、簡単なゲームとコントローラを製作します。プログラミングと計測・制御の学習を体験しながら、技術科情報分野について考えましょう。

実技講座

理論講座

<b>4. 「科学技術イノベーション政策」は技術科を変えるか</b> ◎坂口謙一 (東京学芸大学)	「科学技術イノベーション政策」が推進されるなか、学習指導要領等の次期全面改定が2016年度中に行われ、2020年度からの実施が見込まれています。技術科に焦点を当て、「科学技術イノベーション政策」の影響や「技術・職業教育・訓練」の課題等を考えます。
<b>5. 子どもの学ぶ姿から小学校のものづくり教育を考える</b> ◎鈴木隆司 (千葉大学) 定員15名 材料費：なし	従来の技教研の理論講座とは異なり、小学校の授業での子どもの様子を紹介しながら、実際に身体を動かして、小学生のものづくりの学びを「考え」ます。ある種の理論的枠組の学習をするのではなく、参加者とともに作り・学ぶ講座です。
<b>6. 高学歴化進行のもとでの高校専門教育の課題</b> ◎横尾恒隆 (横浜国立大学), 依田有弘 (千葉大学名誉教授)	『工業高校の挑戦』出版から10年。高校職業教育について、新たな状況に対応した問い直しが必要になっているのではないのでしょうか。今回は高学歴化の進行のもとでの高校専門教育の課題を、外国の事例等も参照しながら共に考えます。

## 総会 (20:30～22:00)

1年間の活動を総括し、次年度の活動方針を検討します。ふるってご参加ください。

## 夜のつどい (22:00～)

「子どもと学校を語ろう」「若手のつどい」など、参加者が自主的に企画します。自由にご参加ください。

## 第2日目 10日(月) 内容別分科会 (9:00～17:30)

内容別分科会の冒頭に、合同分科会を行ったあと、A・Bの分科会に分かれて以下の内容を行います。

### A 小学校・中学校の技術教育

代表世話人：平館善明、浅沼公博

◎ 子どもの学びの姿から、これからの技術教育を考えよう

学校現場は、今、教育のサービス化、学校・子ども間の不毛な競争の激化、教師の仕事の多忙化へ向かっています。この状況に抗し、技教研では、技術科の対象＝生産技術が学習指導要領でも定まった今、子どもの学ぶ姿にあらためて目を向け、反省的に授業を振り返ることで、教育内容をさらに深め、社会の主人公を形成するという次のステップに踏み出しています。本分科会では、小・中学校の技術教育に焦点を当て、全国で

奮闘する先生方の元気なレポートや教材・教具を持ち寄り、明日の授業を切り開く充実した議論ができればと思います。ともに技術教育で変わる子どもの姿を共有し、その教育的価値を深めませんか。材料と加工、エネルギー変換、食糧生産、制御と通信、生産と製図などの実践報告の他、条件整備や教員養成問題など、広く交流する予定です。

### B 高校・高専・高校後の技術・職業教育

代表世話人：竹谷尚人、高岩千尋、辰巳育男

◎ 教育実践を深めよう

工業高校、高専、専門学校、特別支援学校、職業訓練校等が抱えている課題の中から、次の4つの柱に沿って、実践報告をもとに研究討議を行います。1) 高校再編の各地の問題を探り、高校工業職業教育の将来展望を探る。2) 単位数削減の下での工業の専門性の確保と、楽しくわかる授業づくりの実践交流。

3) 就職難に立ち向かう各地の取り組みと、労働観・職業観を育て進路を拓く実践の交流。4) 高専、専門学校、職業訓練校など高校後の技術・職業教育の実践と課題の交流。この他にも、「普通高校における技術・職業教育」「教科『情報』の実践」など幅広くレポートを募集しています。

## 交流会 (18:30～20:30)

夕食を兼ねて参加者全員で交流を深めます。地域サークルやお国自慢など盛りだくさん。

## 第3日目 11日(火) 問題別分科会 (9:00～11:00)

### C 技術史と教育

[長谷川雅康, 石田正治]

石田正治氏から「マゲブルクの技術博物館とルーカスクラウゼ」の報告と昨年の富岡製糸場や今年の九州・山口の産業革命遺産群の世界遺産登録の問題を検討するほか、技術史の授業報告を募集しています。

### D 諸外国の技術・職業教育

[横尾恒隆, 木下 龍]

諸外国の技術・職業教育はどのように行われているでしょうか。この分科会では、2カ国ほどの動向を取り上げ、国内の課題を見据えつつ、国際的な視野で検討します。

### E 子ども・青年の発達と技術・職業教育

[平館善明, 直江貞夫, 坂田桂一]

これからの厳しい労働環境のなかで生きていく子ども・青年の健やかな発達を促す手だてを探るために、彼・彼女らの抱える発達課題や社会的諸課題を、技術・職業教育の観点から検討します。

### F 技術教育の授業づくり

[柴沼 俊輔, 浅沼公博]

紹介・実演・議論を通して、わかる楽しい授業の創造を目指します。お一人お一人に簡単な実践発表をしていただきます。初参加の方や教材を持参されていない方も大歓迎です。

### G 障害児・者の技術・職業教育

[阿部律彦・池田由美子・尾高進]

障害をもつ子ども・青年の技術・職業教育について、実践交流も含めて率直に交流します。日ごろ障害児・者と関わっているかは関係なし。関心のある方はどなたでも大歓迎です。

### H 技術・職業教育の教員養成

[内田徹, 正田祥人]

技術・職業教育の教員養成をめぐる国内の政策動向の検討や、各大学での実践交流を行いたいと思います。教員養成に興味・関心のある方は、どなたでも歓迎いたします。ご参加ください。

## 閉会集会 (11:00～12:00)

◎内容別分科会の報告 ◎参加者からの感想 ◎大会総括

## 地域の技術見学会 (13:00～16:30 \*会場までの移動を含む) \*見学会費の徴収は現地にて

### ① JAXA筑波宇宙センター(管制センター)見学

定員20名 参加費:500円

国際宇宙ステーションとの通信の様子を見学しましょう。運転免許証などの写真のある身分証明書が必要です。施設の関係で事前に名簿の提出が必要で日本国籍のある方限定になります。

### ② サイバーダイン装着型ロボットHAL体験&見学

定員20~30名 参加費:1500円(予定)

神経の微弱な電気信号を読み取り、それに応じてモータを駆動することで、足や手を動かす装着型ロボットの最先端企業です。参加者のうち、1~3名の方に装着体験をしていただく予定です。